

授業科目名	教育相談 (Educational Counseling Theory and Method)		
科目番号	96200(産業技術学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部
担当教員(研究室)	佐藤 正幸 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター502)		
実務経験のある教員による授業科目	担当教員は、独立行政法人機関内にある教育相談センターで教育相談の経験あり。		
免許法施行規則に定める科目区分等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の目的・必要性が理解できる。</li> <li>・教育相談の課題を通じて、学校(教育)現場における諸問題が理解できる。</li> <li>・教育相談活動の内容を学習することによって、児童・生徒に対してどのような支援ができるのかを説明できる。</li> </ul>		
授業概要	学校における教育相談は、心理学の専門家や一部の教師が担うものではなく、授業や学級経営と同じように全ての教師が担当する教育活動の一環として位置づけられている。本講義では、教育相談の理論、技術、スクールカウンセラーの位置づけなどについて概説し、学校(教育現場)における教育相談の役割を理解することを目的とする。		
時間外学修の内容と時間の目安	<p>準備学修:事前配付資料を精読、疑問点の整理(2H)</p> <p>事後学修:講義内容を振り返り、学んだこと、考えたことをまとめる(2H)</p>		
授業計画	<p>第1回:ガイダンス 教育相談とは何か</p> <p>第2回:問題行動とカウンセリング</p> <p>第3回:問題行動の指導</p> <p>第4回:カウンセリングの原理</p> <p>第5回:カウンセリングの方法(1)(カウンセリングの流れ、精神分析的カウンセリング)</p> <p>第6回:カウンセリングの方法(2)(構成的グループエンカウンター、サイコエデュケーション)</p> <p>第7回:学級経営と教育相談</p> <p>第8回:いじめと不登校</p> <p>第9回:幼児・児童・生徒の理解と対応(乳幼児)</p> <p>第10回:幼児・児童・生徒の理解と対応(小学生)</p> <p>第11回:幼児・児童・生徒の理解と対応(中学生・高校生)</p> <p>第12回:障害の理解(発達障害の理解と支援)</p> <p>第13回:精神疾患の理解と支援</p> <p>第14回:シナリオロールプレイング(教育現場におけるカウンセリングの実際)</p> <p>第15回:教育相談における保護者・カウンセラーの連携</p> <p>期末試験</p>		
テキスト	自作のテキストを用意する。		
参考書・参考資料等	講義時に必要に応じて紹介する。		

成績評価方法	中間レポート(第8回時)(30%)及び試験成績(70%)で総合的に評価する。
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない